



題名について／発行の意図について

「たゆまざる 歩み恐ろし かたつむり」

北原白秋の有名な短歌（の一部）ですね。「たゆまざる」は、絶え間がない、休むことがない。「おそろし」は、単なる恐怖ではなく、その一途さや、積み重なる時間の重みに対する「畏怖（いふ）」に近い感情です。

地域と共にある学校づくりを目指して、不定期ですが、配信していこうと思っています。

第1号は、始業式式辞で、児童生徒に話した概略です。

式辞

～明日が楽しみになる学校を共に創ろう～

今日、皆さんの笑顔と共に新年度を迎えられたことを、心から嬉しく思います。

さて、私には今日から始まる1年、皆さんと一緒に目指したい「学校の姿」があります。

それが今年のスローガンです。

【今年のスローガン】

「今日も楽しかった、明日も楽しみと思える学校を創ろう」

皆さんに、新しい発見や笑い声でいっぱいの「今日」を過ごしてほしい。そして夜眠る前に、「明日は何があるかな」とワクワクしてほしい。そんな願いを込めています。

この理想の学校を創るために、大切な2つのことを伝えます。

1. 自分から動き、相手を大切にすること

一人が困っていたら手を差し伸べ、一人が挑戦していたら全力で応援する。そんな温かいやり取りの積み重ねが、学校を「楽しみな場所」に変えていきます。先生たちも、皆さんを全力で支えます。

2. 目的をもって学ぶこと

（コップに入った水を見せる）

ここに目の前に一杯の「水」が入ったコップがあります。

算数・数学を学べば、分量（150ml）を正確に測れます。

社会を学べば、水が届く仕組みや世界の水問題を考えられます。

理科を学べば、水素と酸素からできていることが分かります。

図工・美術を学べば、この透明な輝きを描けます。

音楽を学べば、水の量で音を変えて演奏を楽しめます。

技術・家庭科を学べば、コップの作り方や料理への活かし方を知ることができます。

体育・道徳を学べば、健康との関わりや、水を分かち合う心を養えます。

英語を学べば、この驚きを世界へ発信でき、国語を学べば、今先生が伝えている言葉の意味を深く理解できます。

ただ暗記するのではなく、「知ること世界が広がる」という目的を持って学びましょう。

さあ、今日からスタートです。

世界にたった一つしかない、最高に「楽しい」学校を、皆さんと島の人々と一緒に創っていきましょう！